

図書だより

3月号 3年生版



令和2年 下根中学校図書館

文責：小久保真澄



今年春の訪れが早い気がします。春は出会いの季節でもあります。別れの季節でもありますね。3年生の皆さんとは、二年間のお付き合いでしたが、皆さんにはたくさん助けてもらいました。下根中学校に来て、分からないことが多い私は、皆さんからいろいろと教えてもらいました。たくさんお世話になりました。ありがとうございました。これから皆さんが進む道には、きっと楽しいことがたくさんあることでしょう。でも、辛いことや悲しいこともあるかもしれません。そんな時、本を手にとってみてください。解決策や元気をもらえることもありますよ。これからも少しでも本を手にする時間を大切にしてもらえると嬉しいです。ご卒業、おめでとうございます。



読んでみて～校長先生より

『137億年の物語～宇宙が始まってから今日までの全歴史』

クリストファーロイド 著 (文藝春秋)

全世界の科学と歴史を様々な視点でつながりとして見ていきます。イラストや写真がたくさん取り入れ、まるで旅しているかのようです。社会科と理科を一緒に学べる本です。同名で放映されたテレビ番組の原作になります。



～校長先生はどうしてこのように良書をたくさん読むようになったのか教えていただきました～

なぜ本を読むようになったか

今まで何度か本についての出来事がありました。小学校の担任は、よく私たちと親に「家では本を読むだけでいいから」と言っていました。中学校の担任は、よく太宰治の弱さについて語っていました。高校生になって、父の本棚で太宰治の『斜陽』を見つけました。大学の先生は、本物の英語と落語に出会わせてくれました。社会人になって、ひとりの友人の本の読み方に影響を受けました。これらのことから、私は普通に本を読むようになりました。最近、一生のうちに読める量の少なさに焦りを感じています。もっと早くこのことに気付けばよかったと後悔しています。みなさんにはまだ十分な時間がありますから、今からでもたくさんのよい本に出会ってほしいと思います。

本橋和久



図書室の今日のごろ

3年間、図書室を利用してくださり、ありがとうございました。

図書室に展示していた「下根中生に贈りたい本」を見ていた先生から、「小久保先生から贈りたい本は何ですか？」と聞かれました。考えてみたところ、校長先生から、みなさんに読んでほしい本を教えてもらった後でしたので、ヘミングウェイの『老人と海』が浮かびました。短いお話なのに、とても迫力のある文章で心に残った一冊だったからです。今回ご紹介していただいたように、校長先生は、本当にたくさん本を読まれていて、大変勉強になりました。ありがとうございました。